

日本社会科教育学会 第75回全国研究大会（茨城大会）のご案内（1次案内）※対面開催

日本社会科教育学会会長 唐木 清志
全国研究大会実行委員長 木村 勝彦

第75回全国研究大会を開催致します。現在、世界は予測がつきにくい状況の中で動いています。様々な国際紛争の勃発、予測のつかない災害の発生など私たちは、日々変わっていく世界に囲まれて生活しています。これからの未来を生きる子どもたちにとって、このような環境の中、自らの力で生きる道筋を見いだしてもらうことが必要になります。その時、社会科教育には何ができるのか。その一つの方略が「探究としての学び」ではないかと考えます。探究は社会を対象とする社会科教育では最も根本的な学びの姿であり、将来に渡って子どもたちには探究の心を持ち続けてもらいたいと考えます。今回の大会では主題を「社会科授業における探究のあり方を考える」としました。探究し続ける子どもたちの心を社会科でどのように育成していくのか、皆さんと考えたいと思います。

1. 大会主題 社会科授業における探究のあり方を考える
2. 期 日 2025（令和7）年11月15日（土）・16日（日）
3. 会 場 茨城大学水戸キャンパス共通教育棟
4. 主 催 日本社会科教育学会 日本教育大学協会全国社会科部門
5. 後 援 茨城県教育委員会、水戸市教育委員会（予定）、
一般社団法人茨城県教育会、茨城県教育研究会（予定）

6. 日 程

第1日目 11月15日（土）

8:30	9:00	12:00	13:30	16:00	16:15	17:15	17:30	19:30
受付	自由研究発表Ⅰ	昼食 評議員会	シンポジウム	休憩	総会	移動	懇親会 (大学生協)	

第2日目 11月16日（日）

8:30	9:00	12:00	13:00	15:30
受付	自由研究発表Ⅱ	昼食	課題研究発表	

7. シンポジウム

テーマ : 社会科授業における探究のあり方を考える

コーディネーター : 木村 勝彦 (茨城大学) 川口 広美 (広島大学)

コメンテーター : 金 玗辰 (筑波大学)

シンポジスト : 梅田 比奈子 (玉川大学) 奥谷 大樹 (春日学園義務教育学校)

角田 将士 (立命館大学) 吉村 功太郎 (宮崎大学)

〔趣旨〕

情報化やグローバル化が進展する中で多様な事象が複雑さを増し、変化の先行きを見通すことが困難になりつつある現代社会において、子どもたちひとりひとりに生涯にわたって「探究」を深める社会の形成者としての資質・能力を育成することが、これまで以上に重要となっています。

社会科において「探究」の重要性が言われて久しいですが、主体的・対話的で深い学びや、個別最適な学び、協働的な学び、そして高等学校地歴科の選択科目として新設された科目の名称など、「探究」という言葉の背景にはさまざまな学習のあり方があります。このことを踏まえると、「探究」として思い描く学習のあり様は、教師・研究者ひとりひとりで異なるのではないのでしょうか。

シンポジウムでは、各学校段階や各分野での「探究」の実際を登壇者の先生方にご報告いただき、それらをもとに、「探究」の多様なあり方とその共通項について、検討していきます。

8. 課題研究

I. 子どもたちによる社会科を学ぶ意味づけを教師はどのように考慮すべきか

コーディネーター : 佐藤 孔美 (敬愛大学) 中平 一義 (東洋大学)

〔趣旨〕

社会科教育では長らく、子どもたちが学ぶ意味を実感できる工夫を教師が施すことが重要視されてきました。子どもたちは社会科授業で得た学びを自らの社会生活に意味づけることが期待されているとともに、教師はそれを促す必要があります。しかし、社会科での学びを子どもたちが意味づける先には、他の学習場面や日常生活、将来の生活など多様な意味づけがあります。その多様な意味づけを研究者はどのように捉えられるか、またそれを教師はどのように社会科授業に反映することができるのか、考えたいと思います。

II. 社会科教育はAI時代に生きる子どもたちをどのように育成するか

コーディネーター : 上野 敬弘 (東京学芸大学附属竹早小学校) 重松 克也 (横浜国立大学)

〔趣旨〕

AI技術は急速に進歩しており、私たちはさまざまな場面でAIと関わるようになりました。AIは人間のより快適な生活やより良い社会の実現に向けて活用されるべきものですが、その活用のためにはAIが示す情報を批判的に検討するといったリテラシーが必要となります。また、今後多くの仕事がAIに取って代わるといった予測がある中で、AI時代の社会の形成者として必要な資質・能力とはどのようなものなのでしょうか。到来しつつあるAI時代における社会科教育の在り方について、議論します。

Ⅲ. 社会科における災害・防災教育は今後どうあるべきか

コーディネーター：池 俊介（早稲田大学） 日高 智彦（東京学芸大学）

〔趣旨〕

本学会では、社会科教育における防災教育のあり方を継続的に議論しており、直近の全国研究大会では、2020年の筑波大会において防災教育の継続性を議論してきました。そのような中、2024年元日に「能登半島地震」が発生し甚大な被害をもたらしたとともに、8月には「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発令されました。この発令を受けての対応は地域によって分かれ、閉鎖をする海水浴場があった一方、通常通り開設した海水浴場もあったと報じられました。こうした災害に関する不確実性の高い情報に対し、すべき行動を自ら判断できる子どもたちの育成のために、社会科教育は何ができるのか、議論を深めていきたいと思えます。

Ⅳ. 社会科における外国研究の展望を探る

コーディネーター：阪上 弘彬（千葉大学） 佐藤 公（明治学院大学） 茨木 智志（上越教育大学）

〔趣旨〕

日本の社会科教育の在り方に対し、影響を与えてきた外国研究ですが、近年では様々な変化を経験してきました。外国の優れた実践・教材などを分析する研究だけでなく、外国の研究者・実践者と協働して実践を提案する国際共同研究が登場するなど研究の在り方が多様化し、また科研費による研究活動では国際性の確保（国際共著など）が求められています。このような状況下において、外国研究はこれからどのようにあるべきなのでしょう。これまでの外国研究の流れや近年の動向を踏まえつつ、方法論や学会での成果の共有や還元方法、そして意義などの視点から議論したいと思えます。

Ⅴ. 小学校教員養成において社会科の専門性をどのように育成するか

コーディネーター：熊田 禎介（宇都宮大学） 樋口 雅夫（玉川大学）

〔趣旨〕

現在、中央教育審議会の教員養成部会では、生涯学び続ける教師としての能力形成という観点から、養成段階（特に大学、短期大学）で担保すべき能力はどのようなものであるべきか、議論が進められています。また、高度専門職としての教師の役割、教師不足の状況等を踏まえ、教員免許状の標準を二種免許状相当とすることも検討され始めています。そこで、本課題研究では、必ずしも社会科教育を専門としない小学校教員の養成段階に着目し、社会科の専門性育成のあり方について対話・議論を深めてみたいと思えます。

9. 大会参加の申込みについて

※ 本学会は免税事業者のため、インボイス登録番号はございません。

（1）大会参加費（不課税）

一般会員：3,000円（事前登録）／3,500円（当日受付）

学生・院生会員：2,500円（事前登録）／3,000円（当日受付）

非会員：3,500円（事前登録・当日受付）

（2）懇親会（事前登録のみ）

参加費：4,000円（税込10%）

会場：茨城大学生協食堂

時間：17時30分～19時30分

(3) 昼食

大会当日は両日ともに大学構内の生協食堂が開いているほか、数台のキッチンカーが大学構内で出店します。

(4) 大会参加の事前登録について

①大会参加の事前登録および参加費の支払いは、**6月2日(月)から開始**します。本学会 HP の【**大会参加(事前登録)申込フォーム**】で事前登録と参加費の支払い(クレジットカード決済または銀行振り込み)を行ってください。事前登録と参加費の支払いの両方を終えて大会参加の申込が完了します。片方だけでは参加申込完了とはなりませんのでご注意ください。

②事前登録申込終了後、「受付番号」が自動送信されます。また、お支払いについて「銀行振込」を選択された方はお振込先口座が自動送信メールにて届きます。自動送信メールが送られてこない場合は、申込フォームに記載のある連絡先までお問い合わせください。

※参加登録受付業務は株式会社コムラに委託しております。なお、事前参加申込受付期間終了後の参加キャンセルおよび返金への対応はいたしかねます。

③大会参加事前登録の締切は**10月3日(金)**です。事前登録期間が終了した後の参加キャンセルは、大会実行委員会(E-mail:jass75ibaraki@gmail.com)に直接ご連絡ください。

④事前登録をされる場合、緊急時の連絡先メールアドレスをご登録ください。全国大会の中止等、緊急時の連絡をいたします。

⑤領収書は大会当日に受付にてお渡しいたします。

10. 自由研究発表の申込み、シンポジウム・課題研究の要旨提出について

(1)自由研究発表の申込者および大会当日の発表者は会員に限ります。自由研究発表は、1人当たり2つ(単独1件かつ連名1件、または連名2件)までといたします。シンポジウムと課題研究の発表はこれに含みません。なお、自由研究発表の日時等の希望にはお応えできない場合もあります。

(2)自由研究発表の申込みは、本学会 HP の【**自由研究発表申込みフォーム**】にて行います。申込は**6月2日(月)から開始**します。締切は**7月31日(木)**です。メールの添付ファイルや FAX 等では受け付けません。

(3)**共同研究**として複数の方が自由研究発表を申込みれる場合、申込みを行う代表者は会員である必要があります。非会員が含まれていても、連名で名前が記されている方はすべて参加申込および参加費の支払いが必要です。【大会参加(事前登録)申込フォーム】より個々に参加申込みをお願いします。

(4)『**大会発表論文集**』の原稿は**8月1日(金)**から受け付けます。締切は**8月26日(火)**です。自由研究は2p、課題研究・シンポジウムは2pまたは4pです。受付は本学会 HP の【**大会発表論文集原稿アップロードフォーム**】で行います。メールの添付ファイルや FAX 等では受け付けません。様式は昨年度と同じです。本学会 HP で確認してください。

(5)シンポジウム・課題研究の報告者の方も、本学会 HP の【**大会発表論文集原稿アップロードフォーム**】に要旨をアップロードしてください。自由研究発表と同じく、**締切は8月26日(火)**です。要旨ファイルの件名に【シンポジウム】【課題研究○】と入れてください(○は課題研究のI~Vの番号)。

(6)自由研究発表の日時は、大会プログラム(2次案内も大会 HP にて公開)に掲載します。

(7)自由研究発表の発表時間は**20分**、質疑応答**10分**の計**30分**です。

【開始日・締切日一覧】

- 参加費振り込み，大会参加事前登録の開始 : 6月2日(月) 本学会 HP 大会参加申込フォーム
- 自由研究発表申込みの開始 : 6月2日(月) 本学会 HP 自由研究発表申込フォーム
- 自由研究発表申込みの締切 : 7月31日(木)
- 『大会発表論文集』の原稿の受付開始 : 8月1日(金) 本学会 HP 原稿アップロードフォーム
- 『大会発表論文集』の原稿の締切 : 8月26日(火)
- 参加費振り込み，大会参加事前登録の締切 : 10月3日(金)

11. 問い合わせ先

住所：〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1 茨城大学教育学部

日本社会科教育学会第75回全国研究大会事務局（担当 金久保 響子）

E-mail : jass75ibaraki@gmail.com

※お問い合わせ等は，メールにてお願いいたします。